

社会科（歴史的分野）

社会科（歴史的分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。
- 2 習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。
- 3 生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。
- 4 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。
- 5 生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。
- 6 生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。
- 7 系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。
- 8 表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

社会科（歴史的分野）

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい社会 歴史」

学習課題が、単元を貫く「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間ごとの「学習課題」の3段階で構造化されて示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されるなど、よく工夫されている。また、随所に設定されている「みんなでチャレンジ」や特設ページ「資料から発見！」では、グループワーク等で複数の視点から歴史的事象を考察する活動や資料から読み取ったことをもとに話し合う活動等が設定されており、生徒が各時代の人々や社会の様子を多面的・多角的に捉え、考えられるよう工夫されている。さらに、各章末の特設ページ「地域の歴史を調べよう」では、課題解決的な学習の具体的な進め方に加え、ポスターセッション、歴史新聞、レポート、イラストマップ、プレゼンテーションなど、生徒がまとめ・表現する際の多彩な方法が紹介されるなど、よく工夫されている。

各章の冒頭の「導入の活動」では、学習する時代の年表が示され、また、毎時間の学習には、その時代の主な出来事や文化財等とともに、どの時代の学習をしているか一目で分かるよう「時代のスケール」が用意されている。さらに、各章の「基礎・基本のまとめ」では、年表をもとにその時代の出来事を振り返り、「まとめの活動」では、Xチャートやウェビング等の思考ツールを活用して、時代の出来事を整理しながら、その時代の特色を文章でまとめるという一連の活動が設定されており、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための工夫が優れている。

「歴史をとらえる見方・考え方」では、複数の視点の見方・考え方が示され、随所に「見方・考え方」コーナーや生徒が見方・考え方を働かせながら考察する場面がマークで豊富に明示されるなど、生徒が意識的に見方・考え方を働かせた学習に取り組めるよう工夫されている。

巻頭と巻末に代表的な国宝や重要文化財、史跡などが写真とともに掲載されているとともに、充実した文化史の紙面や、郷土の偉人を取り上げた人物コラムなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■教育出版「中学社会 歴史 未来をひらく」

学習課題が、単元を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの学習課題の3段階で示されているとともに、節ごとの問いや毎時間ごとの学習課題に対するまとめが設定されるなど、工夫されている。また、毎時間の学習のまとめでは、「説明しよう」「話し合おう」として言語活動が設定されているとともに、歴史資料の読み解きを示唆する「読み解こう」、「Q」等で時代の特色を考察する活動が設定され、コラム「歴史の窓」等で生徒の関心を広げ、各章末の「学習のまとめと表現」において、歴史的な見方・考え方を働かせて、生徒が時代の特色を自分の言葉で表現する活動が取り入れられるなど、言語活動の充実が図られている。

各章の導入「学習を始めよう」では、その時代の特徴を表す図版資料をもとに時代を概観し、時代の変化に注目して、学習する時代の特色を明らかにする活動が促されている。また、各章末「学習のまとめと表現」で、年表形式の構造図で時代の流れを大きく捉え直す活動やその時代の特色を歴史新聞、関係図等で整理してまとめる活動を通して、生徒が歴史の大きな流れを大観し、時代の特色を捉えるための多様な活動が設定されている。

巻頭の「歴史にアプローチ」で見方・考え方の例が示されているとともに、「表現」「歴史の技」「読み解こう」「Q」など、教科書全体を通して、見方・考え方を働かせながら取り組む課題や思考ツールを用いて考察したことを整理する活動等が用意されるなど、工夫されている。

我が国の伝統と文化を紹介する巻頭ページ「私たちにつながる歴史」に加え、全体を通して、社会を動かしてきた先人の働きや民衆の営み、人々が受け継いできた多様な伝統と文化を主体的に学ぶことに主眼が置かれるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■帝国書院「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」

学習課題が、章を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの問いの3段階で示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されている。構造的に組み合わせられた学習課題を段階的に解決していく中で、その時代の概観や流れが捉えられるよう工夫されており、生徒にとって使いやすい。また、各章末の「章の学習を振り返ろう」で、「章の問い」に対して自分の考えを段階的に整理する活動とその時代の特色を自分の言葉で説明したり、話し合ったりする活動が設定されているなど、各節・各章・毎時間ごとにまとめや説明する活動が用意されており、生徒が思考力・表現力・判断力を繰り返し高めていくことができるようよく工夫されている。さらに、特設ページ「多面的・多角的に考えてみよう」では、論争的な課題が用意され、論点の整理から議論する活動を通して、生徒が様々な立場を踏まえて自分の考えを深めていく活動が設定されるなど、生徒が多面的・多角的に考察する力を身に付けるための工夫が優れている。

随所に設定されている「歴史を探ろう」では、各時代で生徒が抱きそうな疑問等の解決につながる関連資料や情報が豊富に掲載されており、生徒が探究意欲を高め、学習に取り組むやすい。また、各時代の様子を描いたイラスト「タイムトラベル」では、前の時代との比較や、「タイムトラベルを眺め直そう」のコーナーで学習した時代の特色を改めてイラストを通して捉え直す活動や設定されるなど、生徒が歴史の大きな流れを大観し、時代の特色を捉えやすくするための工夫が優れている。さらに、「歴史的な見方・考え方を働かせよう」では、見方・考え方の複数の視点が紹介されているとともに、「章の学習を振り返ろう」では、考察を深める手順や説明する際の話型が具体的に示されており、生徒が見方・考え方を働かせながら考察を深められるような課題が設定されるなど、よく工夫されている。

各時代で文化史の記述が充実しており、文化財の写真等の資料が豊富に掲載されている。また、巻頭や巻末では、我が国の代表的な文化財等の解説と学習ヒントが紹介されているとともに、特設ページ「歴史を探ろう」やコラム「地域史」「人物コラム」などが豊富に用意されているなど、生徒が我が国の歴史に対する愛情を深め、伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるようよく工夫されている。

■山川出版「中学社会 日本と世界」

毎時間ごとに学習課題が発問形式で示されているが、単元や節のまとめごとの学習課題は設定されておらず、学習内容の習得に向けた手立てがやや弱い。毎時間ごとの学習課題や本文の関連資料に問いの形で示された課題、特設ページ「歴史を考えよう」など、時期や推移、美術作品、史跡など多様な視点から歴史を捉え、考えられるよう、全体を通して言語活動につなげる発問が

豊富に用意されており、多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう工夫されているが、全体を通して、生徒に対話的な活動を促す場面が他社に比べて少ない。

各章の導入で、その時代を表す主な出来事の図版資料や史跡等の写真とともに、日本と世界の年表が並べて提示されているとともに、古代から近代の世界の歴史に関する記述量も多いなど、これから学習する日本と世界の主な歴史の流れが概観的に捉えやすく、日本と世界の出来事を関連付けながら学習できるようよく工夫されている。また、各章末のまとめでは、学習した時代の流れを振り返るための発問がワークシート形式で準備され、それに答える形でその時代の特色が整理できるよう工夫されている。さらに、特設ページ「歴史を考えよう」では、本文とは異なった視点から時代の特色を捉えることができるよう工夫されている。

各章末のまとめで、生徒が見方・考え方を働かせながら、その時代の特色を捉えるため問いが用意されるとともに、毎時間の学習には、「ステップアップ」として深めてほしい課題や、「問い」として、生徒が見方・考え方を働かせながら考察する学習が取り入れられる工夫がされている。

巻頭に日本の世界遺産が注釈付きで紹介されており、特設ページ「地域からのアプローチ」では、文化財保護について理解を深められる内容が掲載されている。また、歴史上の人物が多く取り上げられる「人物コラム」など、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■日本文教出版「中学社会 歴史的分野」

各編の導入で何を学習するのが「めあて」の形で示されるとともに、毎時間の学習課題とその課題に対応したまとめや振り返り活動が設定されるなど、工夫されている。また、各編の「チャレンジ歴史」では、考古資料の読み取りから、話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題について考え、自分の言葉でまとめ、説明する活動が用意されている。さらに、特設ページ「アクティビティ」では、時代の特色を考え、説明する活動が提案されるなど、生徒が歴史を学ぶ面白さを感じながら、多様な言語活動に取り組めるよう工夫されている。

各編末の「学習の整理と活用」では、年表を使った時代の振り返り学習とともに、「アクティビティ」として、その時代の特色を捉え、表現するための段階的な活動等が用意されており、生徒が歴史の大きな流れを大観しながら、各時代の特色が捉えやすい。また、各編の導入「地図で見る世界の動き」では、学習する時代の特色を表す世界地図と図版資料等に加え、日本と欧米、中国、朝鮮等の年表が比較して示されており、我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら、時代の流れや特色を捉えやすいようよく工夫されている。

生徒が見方・考え方を働かせながら考察を深められるよう、第1編「歴史的な見方・考え方とは」で、見方・考え方が複数の視点を具体的に紹介されているとともに、毎時間ごとにも学習課題の解決に向けた手がかりとなる見方・考え方が明示されている。また、「深めよう」や「アクティビティ」では、見方・考え方を働かせる課題が設定されている。さらに、特設ページ「チャレンジ歴史」や各章末の「アクティビティ」などで、考察の視点や手順が具体的に示されるなど、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されており、優れている。

「歴史を掘り下げる」「地域に学ぶ」「先人に学ぶ」などの多様な特設ページ等が用意され、地域に受け継がれてきた行事や活動などを継承・発展させることの意義が重視されている。文化に関する資料も豊富に掲載されるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

■育鵬社「最新 新しい日本の歴史」

各単元の学習内容に関わる具体的な課題に加え、毎時間の学習課題が示されており、その課題に対応した「学習のまとめ」に取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。また、各章末「歴史のターニングポイント」では、当時の時代背景を学んだうえで、対立する立場の意見を踏まえ、生徒同士が議論する活動が設定されている。また、各所に設定される特設ページ「私の歴史博物館をデザインしてみよう」では、学芸員になったとの想定で、その時代の特色を表すパネルや説明文を考える活動が設定され、生徒の興味を引きながら、多様な言語活動の充実が図られており、優れている。

各単元の導入に設けられた「鳥の目で見える」「虫の目で見える」のページにより、その時代の概観や流れが捉えやすく、また、各章末の「学習のまとめ」では、年表や資料などをもとにその時代を振り返り、その時代で最も重要な人物や出来事を選びその理由を考察し、自分の言葉で表現する活動が設定されている。また、「歴史のターニングポイント」等では、生徒が学習した時代の大きな流れを大観し、時代の特色を掴むための課題が設定されている。さらに、毎時間ごとや各章の導入や章末、「歴史ズームイン」などにおいて、歴史的事象を考察する視点や発問、自分の言葉で表現する活動が用意されるなど、よく工夫されている。

見方・考え方に関する説明や紹介する記述は見られないが、各章のまとめ活動など、各所に見方・考え方を働かせながら、その時代の特色を捉えるための問いや課題が設定されている。

巻頭や巻末では、各時代の国宝級の文化財、巻末に世界遺産や史跡が紹介されている。また、「歴史ビュー」「歴史にズームイン」「人物クローズアップ」「なでしこ日本史」など、多様な特設ページやコラム等に加え、本文の各所でも我が国の歴史を築いてきた人物の役割が重視されているとともに、文化財に関する資料が豊富に提示されていることで、我が国の時代ごとの人物や文化の特色や変遷が生徒にとって捉えやすく、生徒が我が国の歴史に対する愛情を深め、伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるようよく工夫されている。

■学び舎「ともに学ぶ人間の歴史」

大きな時代のまとまりごとに学習課題が示されている。また、各章冒頭には世界各地の様子をテーマ別に掲載されるとともに、章末には振り返りが設定されるなどの工夫は見られるが、毎時間ごとのまとめ活動等は設定されておらず、学習内容の習得に向けた手立てが弱い。

各部や各章末に、地図や年表を用いて、グループ活動等を通して、時代の特色や転換を振り返りながら、考察し、表現する活動が設定されている。また、特設ページ「歴史を体験する」では、「対話・討論にチャレンジ」として、生徒同士で賛否を討論する活動が設けられるなど、言語活動の充実が図られている。

歴史の流れを大観できるよう、巻末に12ページにわたって地球誕生から現代までの歴史年表が図版とともに示されているとともに、各章の冒頭には学習課題とともに、世界地図と年表を用いて、その時代の外国で起こった主な出来事や世界史の教材が示されるなど、その時代の世界の様子が捉えやすい。また、章や部のまとめには、時代の特色に応じた図版や発問などが設けられており、スリーヒントクイズや歴史絵画の推理、その時代の人にインタビューなど多様な活動を通して、生徒の興味を高めながら、歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えられるよう工夫されている。

なお、生徒が習得した知識・技能を活用しながら思考力・判断力・表現力等を身に付けるための手立て、課題を追究し解決を目指す学習活動の設定、見方・考え方を働かせながら問いの解決を図る具体的な課題等が示されておらず、工夫が弱く十分ではない面がある。

各所に、今日につながる芸能、文芸、建築、伝統行事などが多彩に紹介されており、生徒を文化の担い手とする視点で記述されている。また、巻末には日本の主な史跡や寺社が紹介されるとともに、適宜設定される「歴史を体験する」では、地域の博物館調べや火おこし体験が提案されるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点	東京書籍	教育出版	帝国書院	山川出版	日本文教出版	育鵬社	学び舎
1	学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること	1 基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた工夫	○	○	○	○	○	○	△
		2 指導事項(学習課題やまとめ・振り返り活動等)の明示	◎	○	◎	△	◎	○	○
		3 用語・語句の取り上げ方や説明・注釈などに関する工夫	○	○	○	○	○	○	○
		4 様々な情報を収集・読み取り・まとめる技能を身に付けるための工夫	○	○	○	○	○	○	○
2	習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること	1 習得した知識・技能の活用を促す工夫	○	○	◎	○	○	○	△
		2 説明したり議論したりするなどの言語活動の充実	○	○	◎	○	○	◎	○
		3 課題を追究したり解決したりする学習の進め方の提示	◎	○	○	○	○	○	△
3	生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること	1 主体的・対話的な学習に向けた工夫	○	○	○	△	○	○	○
		2 探究意欲を高める工夫	○	○	◎	○	◎	○	○
		3 発展的な学習活動につながる工夫	○	○	○	○	○	○	○
4	グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること	1 歴史の流れを大観し、各時代の特色を捉えるための工夫	◎	○	◎	○	○	◎	○
		2 歴史的な見方・考え方を働かせる課題設定の工夫	○	○	◎	○	◎	○	△
		3 考察する力や説明する力を育成するための工夫	○	○	◎	○	◎	◎	△
5	生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること	1 持続可能な社会の形成に参画する態度を養うための工夫	○	○	○	○	○	○	○
		2 我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うための工夫	○	○	◎	○	○	◎	○
		3 我が国の歴史と世界の歴史との関連に関する記述	○	○	○	◎	◎	○	○
6	生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること	1 人権教育の推進	○	○	○	○	○	○	○
		2 道徳教育の推進	○	○	○	○	○	○	○
7	系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること	1 単元構成の系統性・発展性	○	○	○	△	○	○	△
		2 他教科や教育課題等との関連	○	○	○	○	○	○	△
		3 他校種との接続	○	○	○	○	○	○	○
		4 家庭・地域との連携	○	○	○	○	○	○	○
8	表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること	1 文字や写真、図表等の適切さ、正確性、使いやすさ	○	○	○	○	○	○	△
		2 ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	○	○	○
		3 装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○	○	○	○
		4 用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	○	○	○

【社会科（歴史的分野）】観点別資料

【選定の観点1-1】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
<p>○毎時間ごとに設定されている「チェック」「トライ」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「チェック」では、基礎的・基本的な内容を確認し、「トライ」では、要約や説明をする活動に繰り返し取り組むことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各単元末に「基礎・基本のまとめ」が設定されており、学習した語句を説明したり、主な出来事や重要語句を年表や図に整理したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○学習課題が、単元を貫く「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間ごとの「学習課題」の3段階で構造化されて示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。</p>	<p>○毎時間ごとに設定されている「確認」「表現」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「確認」では、基礎的・基本的な内容を確認し、「表現」では、説明や話し合い活動を行うことで、段階的に振り返りながら、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各章末に「学習のまとめと表現」が設定されており、年表や地図をもとに、学習した語句の意味を確認したり、語句を活用して説明したりする課題を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○学習課題が、単元を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの学習課題の3段階で示されており、単元を貫く問いに対するまとめは設定されていないが、節ごとの問いや毎時間ごとの学習課題に対するまとめが設定されるなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間ごとに設定されている「確認しよう」「説明しよう」の2段階で毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、「確認しよう」では、本文から重要語句やポイントを書き出し、「説明しよう」では習得した知識を活用する言語活動に繰り返し取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各章末に「章の学習を振り返ろう」が設定されており、年表や地図を用いて基礎的・基本的な知識を整理したり、単章の学習内容を指定された話型でまとめたりする活動を通して、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○学習課題が、章を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの問いの3段階で示されており、それぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動が構造的に設定されているなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。</p>	<p>○毎時間ごとに設定されている「ステップアップ」で、「どのように」「比較してみよう」「考えてみよう」「なぜだろう」といった発問を経ることで、毎時間の学習のまとめへとつなげられており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各章末にワークシート形式で、各時代の変化や影響を考察し、表に整理してまとめる活動が用意されており、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○毎時間ごとに学習課題が発問形式で示されているが、単元や節のまとめりごとの学習課題は設定されておらず、生徒の学習内容の習得に向けた手立てとしてやや弱い。</p>	<p>○毎時間ごとに設定されている「確認」で、学習課題とともに示された見方・考え方をともに、学習のまとめができるよう工夫されている。また、適宜設定されている「深めよう」では、見方・考え方を働かせる問いが用意されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各章末に「学習の整理と活用」が設定されており、年表と地図を用いた振り返りが促されている。また、特設ページ「アクティビティ」では、時代の特色をまとめる活動が設定されるなど、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各編の導入で、これから学習する内容の概要が示されるとともに、毎時間の学習課題とその課題解決の手がかりとなる見方・考え方が毎時間併せて示されている。また、学習課題に対応したまとめや見方・考え方を働かせるなど、生徒が学習内容を習得できるようよく工夫されている。</p>	<p>○毎時間ごとに設定されている「学習のまとめ」で、毎時間の学習のまとめができるよう工夫されている。また、適宜設定されている「説明しましょう」の発問では、発表や説明、まとめなどの活動が設定されており、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各章末に「学習のまとめ」が設定されており、「年表」「資料の確認」「歴史を動かした人物のレポート」「地図」をもとに、その時代の特色を文章でまとめる活動が提案されるなど、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○各単元に、学習内容に関わる具体的な課題が示されるとともに、毎時間の学習課題が示されている。また、その課題に対応した「学習のまとめ」に取り組むことで、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間ごとに、疑問文の形式で学習課題が設定されているが、まとめ活動は設定されておらず、生徒が学習内容を習得するための手立てが弱い。</p> <p>○各章末に「章をふりかえる」「学習のまとめ」が設定されており、学習内容を確認する問い、指定された語句を用いて説明する問い、その時代の特色について記述する問いが用意されており、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。</p> <p>○毎時間ごとのまとめ活動は設定されていないが、大きな時代のまとめりに学習課題が示されている。また、各章冒頭には、世界各地の様子がテーマ別に掲載されるとともに、章末には振り返りが設定されるなど、生徒が学習内容を習得できるよう工夫されている。</p>

【選定の観点1-2】

学習課題や目標の明示、適切なまとめや振り返り活動の設定など、生徒が基礎的・基本的な知識・技能の内容を確実に習得できるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されるとともに、巻末の「用語解説」ページでさらに補充されている。また、本文・巻末ともに関連ページが表示されるなど、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○資料の読み取り、情報収集・まとめなどの技能を生徒が身に付けるためのコーナー「集める」「読み取る」「まとめる」が随所に設定されている。また、時代を反映する系図や絵巻物、屏風絵、風刺画等を読み解く視点が具体的に示される「スキル・アップ」コーナーなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されるとともに、同じページに「解説」コーナーが設けられており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○随所に設けられる「読み解こう」コーナーでは、生徒が資料を読み取り・分析する際の視点が問いの形で示されている。また、コラム「歴史の技」では、資料活用の方法・手順等が示されており、個人やグループ活動を通して、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されるとともに、同じページに「解説」コーナーが設けられており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○随所に設定されている「資料活用」では、資料を読み取る視点が具体的に示されるなど、生徒が資料を読み取る力を高められるよう工夫されている。また、随所に「タイムトラベル」や「技能をみがく」として、各時代の様子を比較したり、時代の特色を捉えたりするための特設ページやコーナーが用意されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されるとともに、同じページに「用語解説」コーナーが設けられるなど、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○本文に掲載される関連資料に、資料を読み取る視点が問いの形式で数多く提示されている。また、各所に設定される特設ページ「歴史を考えよう」では、その時代に特徴的な事象等を読み解く視点や活動が提示されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されるとともに、同じページに「基本用語」コーナーが設けられており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○各編の導入で、時代を読み取る視点が示されるとともに、各所に資料の読み取りを補助する「資料活用」が用意されている。また、調べ学習や史跡見学の方法等を紹介する「スキルUP」コーナーが各所に設けられるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○各章冒頭に「歴史絵巻」として、章の大きな歴史の流れを示す「鳥の目で見ると」、各時代の特色を捉える視点等を示す「虫の目で見ると」が設けられている。また、随所に「歴史ビュー」や「歴史ズームイン」として、多角的な視点で時代を捉えるためのコーナーやコラムが用意されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○本文の難しい用語には、側注で解説が示されており、生徒の用語理解を深める手立てとなっている。</p> <p>○各章冒頭で紹介される世界各地の様子をテーマ別に紹介する資料で、その時代の世界の状況を捉えることができるよう工夫されている。また、各章末の「歴史を体験する」では、歴史的な人物や芸術作品の調べ学習等が提案されるなど、生徒が歴史学習に必要な技能を身に付けられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点2-1】

習得した知識・技能を活用しながら、生徒が問題発見・解決的な学習、話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み、多面的・多角的に考察しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
<p>○毎時間の学習のまとめとなる「トライ」で、1時間の学習内容をもとに要約や説明する言語活動が設定されている。また、各章末のまとめでは、章の学習を通して習得した知識・技能を活用しながら、段階的に探究課題の解決を図る活動や思考ツールを使って学習した時代のまとめを行う活動が設定されており、生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○随所に設定されている「みんなでチャレンジ」や特設ページ「資料から発見！」で、グループワーク等で複数の視点から歴史的な事象を考察する活動や資料から読み取ったことをもとに話し合う活動等が設定されており、生徒が各時代の人々や社会の様子を多面的・多角的に捉え、考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「表現」で、「説明しよう」「話し合おう」として、自分の言葉で説明したり、対話したりする言語活動が設定されている。また、各章末の「学習のまとめと表現」では、イラストや写真、図をもとに、その時代の出来事や変化を説明する活動やその時代の特色を考える活動が設定されており、生徒が身に付けた知識・技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○歴史資料の読み解きを示唆する「読み解こう」「Q」等で、時代の特色を考察する活動が設定されている。また、各所に用意されているコラム「歴史の窓」では、生徒の関心を広げ、各章末の「学習のまとめと表現」では、歴史的な見方・考え方を働かせて、生徒が時代の特色を自分の言葉で表現する活動が取り入れられるなど、多様な言語活動の充実が図られている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「説明しよう」で、1時間の学習内容をもとに説明してまとめる活動が設定されている。また、各節末には、「節の問い」への解答を考え、説明する活動が設けられており、さらに、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、「章の問い」に対する自分の考えを、章の学習内容を活用しながら、導き出せるよう丁寧に手順が示されているなど、節・章・毎時間ごとに、生徒が知識・技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を繰り返し高めていくことができるよう工夫されている。</p> <p>○各章末の「章の学習を振り返ろう」で、章の問いに対して自分の考えを説明したり、深めるために話し合ったりする活動が設定されている。また、各所に設定される「多面的・多角的に考えてみよう」では、論争的な課題が用意され、論点の整理から議論する活動を通して、生徒が様々な立場を踏まえて自分の考えを深めていく活動が設定されるなど、多面的・多角的に考察する力を身に付けるための工夫が優れている。</p>	<p>○毎時間の学習において、歴史が変化する過程で起こる諸課題についての問いとともに、その問いの解決につながるまとめ活動「ステップアップ」が設定されている。また、各章末のまとめでは、章の学習を通して習得した知識・技能を活用して、その時代の特色や前後の時代との比較等を、多面的・多角的に考察し説明する活動がワークシート形式で用意されるなど、生徒が知識・技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○毎時間の学習課題や本文の関連資料に付されている問いの形で示された課題、特設ページ「歴史を考えよう」「歴史へのアプローチ」など、時期や推移、美術作品、史跡など多様な視点から歴史を捉え、考えられるよう、全体を通して言語活動につなげる発問が豊富に用意されており、生徒が多面的・多角的に考察する力を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「確認」では、1時間の学習内容をまとめる活動、「深めよう」では、見方・考え方を働かせて学習内容をさらに深めるための活動が設定されている。また、各章末の「学習の整理と活用」や特設ページ「アクティビティ」では、習得した知識をもとに前の時代との共通点や違いを考えたり、その時代の特色を自分の言葉でまとめたりする活動が設定されており、生徒が知識・技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○各編に設定された「チャレンジ歴史」では、考古資料の読み取りから、話し合いや意見交換を通して、多面的・多角的に課題について考え、自分の言葉でまとめ、説明する活動が用意されている。また、特設ページ「アクティビティ」では、時代の特色を考え、説明する活動が提案されるなど、生徒が歴史を学ぶ面白さを感じながら、多様な言語活動に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習のまとめとなる「学習のまとめ」で、1時間の学習内容をもとに指定された語句を使って学習内容を確認したり、説明したり、まとめたりする活動が設定されている。また、各章末の「学習のまとめ」では、章で学習したことをもとに、年表や資料を用いてその時代の特色を説明する活動が複数設定されるなど、生徒が知識・技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○各章末の「歴史のターニングポイント」では、当時の時代背景を学んだうえで、仏教や鎖国等の対立する立場の意見を踏まえ、生徒同士が議論する活動が設定されている。また、各所に設定される特設ページ「私の歴史博物館をデザインしてみよう」では、学芸員になったとの想定で、その時代の特色を表すパネルや説明文を考える活動が設定されるなど、生徒の興味を引きながら、多様な言語活動の充実が図られており、優れている。</p>	<p>○各部末の「学習のまとめ」や各章末の「章をふりかえる」で、学習した内容をもとに、各時代を比較したり、関連付けたりしながら、その時代の特色を説明する活動が設定されている。ただし、毎時間には、問いの形での学習課題が設定されているものの、習得した知識・技能を活用するための働きかけや学習内容をまとめる活動等は設定されていないなど、生徒が知識・技能を活用しながら、思考力・判断力・表現力等を身に付けるための工夫として弱い面がある。</p> <p>○各部や各章末に、地図や年表を用いたグループ活動等を通して、生徒自身が時代の特色や転換を振り返りながら、考察し、表現する活動が設定されている。また、特設ページ「歴史を体験する」では、「対話・討論にチャレンジ」として、『学問のすゝめ』を題材に、生徒同士で福沢諭吉の主張に対して賛否を討論する活動が設けられるなど、多様な言語活動の充実が図られている。</p>

【選定の観点2-2】

習得した知識・技能を活用しながら，生徒が問題発見・解決的な学習，話し合い活動や表現活動等の言語活動に取り組み，多面的・多角的に考察しながら，思考力・判断力・表現力等を身に付けられるよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名	2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
	<p>○毎時間の学習課題の解決を積み重ねながら，節ごとの課題「探究のステップ」のまとめに取り組み，章末には，章全体の学習を通して追究してきたことをもとに，探究課題の解決につながるまとめに取り組みという流れで，生徒が段階的な課題解決の学習に取り組めるよう工夫されている。また，各章末の特設ページ「地域の歴史を調べよう」では，課題解決的な学習の具体的な進め方に加え，ポスターセッション，歴史新聞，レポート，イラストマップ，プレゼンテーションなど，生徒がまとめ・表現する際の多彩な方法が紹介されるなど，よく工夫されている。</p>	<p>○毎時間の学習課題や各章末の「学習のまとめと表現」，節ごとに設定された課題に対して説明するまとめの活動が設けられている。また，第1章の「身近な地域の歴史を調べよう」では，インタビュー活動を通して調べたり，話し合って考察したり，まとめて発表したりする活動の進め方が具体的に紹介されるなど，生徒が課題を追究し解決する学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○全ての章で，章を貫く問い，節ごとの問い，毎時間の問いが示されるとともに，それらの問いごとに振り返り活動が設定されており，生徒は章全体の見直しを持ちながら，段階的に問いを追究することで，課題解決的な学習が進めやすい。また，第1部の「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では，課題設定から調査手法，まとめの方法など一連の流れが示されている。さらに，「技能をみがく」コーナーでは，具体的な学習手順が紹介されるなど，生徒が課題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○第1章の「身近な地域を調べよう」では，テーマの設定から調査の進め方までイラストを交えて紹介され，また，レポートの書き方や発表方法がわかりやすく示されるなど，生徒が課題解決的な学習を進められるよう工夫されている。また，各章末では，政治・経済や世界とのつながり，変化についてまとめ，振り返る活動がワークシート形式で用意されており，単元を見通した課題設定に弱い面がみられるものの，生徒が課題解決を意識しながら学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○各編冒頭に，各時代を大観する資料が用意されており，時代の転換や特色を捉えるための視点と学習課題に加え，「何ができればよいか」と具体的な「めあて」が併せて示されている。また，各単元末には，時代を読み取る視点に着目して，生徒が学習課題を解決するための手順に沿って，振り返り活動に取り組めるよう工夫されている。さらに，各章の特設ページ「でかけよう！地域調べ」では，史跡・遺跡見学や博物館見学による調査の進め方や歴史新聞のまとめ方が紹介されるなど，課題解決的な学習の充実が図られている</p>	<p>○各章冒頭に用意されている，章の大きな歴史の流れを示す「鳥の目で見ると」，各時代の特色を捉える視点等を示す「虫の目で見ると」を経て，各章末の「学習のまとめ」で，時代を振り返り，その時代の特色をまとめる活動へとつながるよう段階的な学習活動が設定されている。章冒頭の「虫の目で見ると」と章末の「学習のまとめ」の関連性に弱い面がみられるものの，生徒が課題解決的な意識をもって学習に取り組む手立てになっている。</p>	<p>○毎時間のまとめ活動の設定がないことに加え，各部の「学習のまとめ」では，時代の特色や転換を捉え，その時代の特色を自分でまとめる活動が設けられているものの，各部冒頭に示される学習課題とのつながりが明確でないため，生徒が課題を追究し解決する学習を進めるための手立てとなり得ていない。また，特設ページ「歴史を体験する」の「地域の歴史を歩く」では，博物館や地域を歩いて調べたことをグループやクラスで発表する活動が紹介されているが，他社と比べて内容が弱く，生徒が課題解決的な学習を進める手立てとして十分ではない。</p>

【選定の観点3-1】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
<p>○イラストや年表等をもとに単元の学習課題を掴むための対話的な学習が、各単元の導入に設けられている。また、節ごとの間を「探究のステップ」として、さらに単元を貫く間を「探究課題」として示すことで、生徒が単元の見通しをもって主体的に学習が進められるよう工夫されている。さらに、単元の導入やまとめ、毎時間ごとなど様々な場面で「みんなでチャレンジ」のコーナーが設けられ、生徒が対話的な活動を取り入れた協働的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○単元を貫く「探究課題」、各節の「探究のステップ」、毎時間ごとの「学習課題」の3段階に設定された学習課題と、それぞれに関連させた「導入の活動」「まとめの活動」が用意されるなど、構造的に探究的な学習に取り組めるよう工夫されている。また、各章の特設ページ「地域の歴史を調べよう」では、時代を代表する地域の調査・考察・まとめ活動が手順ごとに紹介されるなど、生徒が探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の導入「学習を始めよう」で、資料をもとにこれからの学習する時代の概要を掴むための活動が設定されている。また、教材名を「クリスマスまでには帰れるさ」といった生徒の興味を引くようなタイトルを付けることで、主体的な学習を促している。また、対話的な活動の場面は他社と比べ多くないが、章の導入やまとめの活動、毎時間などの様々な場面で、「読み解こう」「歴史の技」として、生徒が対話的な活動に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○各所に設定される「読み解こう」「Q」等で、ヒントを用いながら、歴史資料を読み解き、時代の特色を考察する探究的な活動が提案されている。また、各章の特設ページ「身近な地域の歴史を調べよう」では、その時代の特徴的な出来事や遺跡、寺社等が掲載されており、生徒の地域の歴史への興味と探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○各時代の冒頭に、「タイムトラベル」として、大きくその時代の特徴を表したイラストが掲載されており、前の時代と比べながらその時代の様子を捉えることで、生徒が学習する時代の見通しが高めやすい。また、章のまとめでは、自分の考えを深めるための話し合い活動が設定されており、さらに、特設ページ「多面的・多角的に考えてみよう」では、「赤穂事件」「三酔人経綸問答」等を取り上げ、生徒の関心を高めながら、対話的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○各時代の概観を描いた「タイムトラベル」では、大きなイラストでその時代の特色を探る活動が設定されており、生徒の学習の動機付けとなっている。また、随所に設定されている「歴史を探ろう」では、各時代で生徒が抱きそうな疑問等の解決につながる関連資料や情報が豊富に掲載されており、生徒が探究意欲を高め、学習に取り組むやすい。さらに、「多面的・多角的に考えてみよう」では、その時代の様々な選択肢を当時の人々の立場に立って考察し説明する活動が提案されるなど、生徒の探究意欲を高められるようよく工夫されている。</p>	<p>○各章の冒頭に、日本史年表と世界史年表が見比べられる形で掲載されるとともに、その時代を代表する事象や文化財等が写真、風刺画、図版・イラスト等を用いて示されることで、生徒の関心を高めながら、対話的な学習につながるよう工夫されている。ただし、全体を通して、生徒に対話的な活動を促す場面が他社に比べて少ない。</p> <p>○本文に掲載される関連資料に、資料を読み取る視点や生徒に思索を促す課題が数多く示されている。また、適宜「ステップアップ」としてさらに深めてほしい課題が示されるなど、学習の動機付けが図られている。さらに、特設ページ「歴史を考えよう」では、史料や絵巻物などを読み解きながら、その時代を深く捉えるための発問が投げかけられており、特設ページ「地域からのアプローチ」とともに、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○各編の冒頭に、その時代を代表する事象等が、写真、図版・イラスト等を用いて示されており、前の時代と比較するなど対話的な活動を通して、生徒が学習する時代を概観できるよう構成されている。また、この編を通して何ができるようになればよいかを「めあて」として示し、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。さらに、特設ページ「チャレンジ歴史」「アクティビティ」では、対話的な学びを促す問いが設定されるなど、生徒が主体的・対話的な学習に取り組むやすい。</p> <p>○「考古学に挑戦」「江戸幕府のライバル対策」など、歴史の謎に迫り、歴史を学ぶ面白さを体験できる題材が取り上げられている「チャレンジ歴史」、五輪の歴史や文化財の保存修理の仕事等の幅広いテーマが解説されている「歴史を掘り下げる」など、生徒の探究的な学習の動機付けとなる工夫が数多く設けられている。また、巻末の「歴史との対話を未来にいかす」では、テーマ別に索引が設けられ、災害・政治・世界平和から自らテーマを選んで取り組む課題学習が設定されるなど、生徒の探究意欲を高められるようよく工夫されている。</p>	<p>○各章の冒頭の「鳥の目で見ると」で、この章で学習する内容が示され、「虫の目で見ると」で、資料を読み取りながら、その時代の様子を捉える活動が設定されており、生徒が学習する時代の見通しを持ちやすい。また、特設ページ「歴史のターニングポイント」では、時代の大きな出来事について話し合う活動が設定されており、さらに、各章末の「学習のまとめ」では、学習した時代について話し合う場面が設けられるなど、対話的な学習につながるよう工夫されている。</p> <p>○各章末に設定される「歴史のターニングポイント」では、当時の時代背景やその時代の特色を学んだうえで、「戦後日本はなぜ高度経済成長できたのか？」など深く掘り下げて議論する課題が設定されている。また、特設ページ「歴史ズームイン」では、「縄文時代探検！」など、生徒の関心を高めながら、時代の生活や文化等内容が紹介されるなど、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の冒頭に、世界地図と年表を用いて、その時代の外国で起こった主な出来事と学習課題が毎時間ごとに示されている。また、毎時間の学習タイトルを、「将軍吉宗のなげき」「632日世界一周の旅」など、生徒の興味を引くような表現とすることで、主体的な学習を促している。さらに、各章末の「ふりかえり」、各節末の「学習のまとめ」では、発表や話し合い活動が提案されるなど、生徒が対話的な活動に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○各章の冒頭に、大きな時代を見渡した学習課題が示されており、また、章末の「歴史を体験する」では、歴史的な人物や芸術作品の調べ学習等が提案されている。さらに、適宜本文内に設けられている「フォーカス」では、「郷学校から公立学校へ」「家族総出の『米こしらえ』」など、歴史の舞台に焦点をあてた解説が掲載されており、生徒の探究意欲を高められるよう工夫されている。</p>

【選定の観点3-2】

生徒が主体的・対話的に学ぶことができるよう、能動的・体験的な活動など探究意欲を高めるための工夫・配慮がなされ、さらに学んだことを活用して発展的な学習に取り組みやすいよう工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
○特設ページ「もっと歴史」では、学習内容をさらに深めたり、広げたり、異なる視点で捉えたりしながら取り組む学習課題が提案されており、また、「歴史にアクセス」では、歴史的イベントや人物を掘り下げた解説が取り上げられるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○各所に、歴史学習の興味や関心を広げていくコラム「歴史の窓」や、歴史を様々な側面から掘り下げていくテーマ学習の特設ページ「歴史を探ろう」など、本文の内容を視点を変えて捉えなおす題材が多く取り上げられるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○各所に本文の内容をさらに深く掘り下げるコラム「歴史プラス」が設けられているとともに、当時の人々の姿を捉え、当時の社会的な課題に取り組む「未来に向けて」、中央とは異なる地域の姿を描く「地域史」など、数多くのコラムが設けられるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○各時代と関連する世界の様子をイラストで紹介する「〇世紀の世界」など、生徒が世界史との関連に気付くよう工夫されるとともに、「歴史へのアプローチ」「コラム」「人物」など、本文をより深める内容が数多く紹介されるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○毎時間に示される「深めよう」では、見方・考え方を働かせて、学習課題をさらに深める問いが設定されている。また、「歴史+α」「歴史を掘り下げる」「先人に学ぶ」「女性史コラム」など数多くの特設ページやコラムが設けられており、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○歴史学習の幅を広げ、多角的な視点で解説する「歴史ビュー」「歴史ズームイン」、歴史を動かした人物を紹介する「人物クローズアップ」「なでしこ日本史」などの多彩なコラムに加え、各章の「このころ世界は」では、世界史が紹介されるなど、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。	○適宜本文内に設けられている「フォーカス」では、歴史の舞台となった地域や出来事などに焦点をあてた解説が掘り下げられており、また、各章末の「歴史を体験する」では、火おこし実験やインターネットでの情報探索、討論を促す内容で、生徒が発展的な学習に取り組みやすいよう工夫されている。

【選定の観点4-1】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
<p>○各章の冒頭に、「導入の活動」として、学習する時代の年表が示され、毎時間には、その時代の主な出来事や文化財等とともに、生徒がどの時代の学習をしているか一目で分かるよう「時代のスケール」が用意されている。また、単元を貫く「探究課題」や各節の「探究のステップ」、毎時間の探究課題を追究することで歴史の流れが大観できるよう工夫されている。さらに、各章の「基礎・基本のまとめ」では、年表をもとにその時代の出来事を振り返り、「まとめの活動」では、Xチャートやウェビング等の思考ツールを活用して、時代の出来事を整理しながら、その時代の特色を文章でまとめるといふ一連の活動が設定されており、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための工夫が優れている。</p> <p>○第1節「歴史をとらえる見方・考え方」で、見方・考え方の複数の視点が紹介されている。また、随所に「見方・考え方」コーナーや生徒が見方・考え方を働かせながら考察する場面がマークで明示されるなど、生徒が意識的に見方・考え方を働かせた学習に取り組めるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の導入「学習を始めよう」では、その時代の特徴を表す図版資料をもとに時代を概観し、キャラクターの吹き出しで、時代の変化に注目して、生徒が学習する時代の特色を明らかにする活動が用意されている。また、どの時代の学習をしているか一目でわかるよう「時代スケール」が毎時間掲載されているとともに、各章末「学習のまとめと表現」では、年表形式の構造図で時代の流れを大きく捉え直す活動やその時代の特色を歴史新聞、関係図等で整理してまとめる活動が設定されているなど、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための多様な活動が設定されている。</p> <p>○巻頭に「歴史にアプローチ」として、見方・考え方の例が示されている。また、全体を通して、「表現」「歴史の技」「読み解こう」、資料解説に付随する「Q」などで、生徒が見方・考え方を働かせながら取り組む課題が用意されるなど、工夫されている。</p>	<p>○「章の問い」、「節の問い」、毎時間ごとの学習課題が構造的に組み合わせられており、段階的に課題解決を図る中で、生徒がその時代の概観や流れが捉えられるよう工夫されている。また、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、年表をもとに学習した時代の出来事を振り返り、「章の問い」に対する自分の考えを段階的に整理する活動が示されており、最後には、その時代の特色を自分の言葉で表現する活動が用意されている。さらに、各時代の様子を描いたイラスト「タイムトラベル」では、前の時代との比較や、「タイムトラベルを眺め直そう」のコーナーで学習した時代の特色を改めてイラストを通して捉え直す活動が設定されるなど、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えやすくなるための工夫が優れている。</p> <p>○第1部「歴史的な見方・考え方を働かせよう」で、見方・考え方の複数の視点が紹介されている。また、各時代の様子を描いた「タイムトラベル」や各章末の「章の学習を振り返ろう」では、時代を比較しながら、特色を捉える活動の中で、生徒が見方・考え方を働かせながら考察を深められる具体的な課題が設定されるなど、よく工夫されている。</p>	<p>○各章の導入で、その時代を表す主な出来事の図版資料や史跡等の写真とともに、日本と世界の年表が並べて提示されており、生徒がこれから学習する日本と世界の主な歴史の流れが概観的に捉えやすい。また、各章末のまとめでは、学習した時代の流れを振り返るための発問がワークシート形式で用意されており、それに答えていく形でその時代の特色を整理できるよう工夫されている。さらに、特設ページ「歴史を考えよう」では、江戸図屏風や関所から時代の特色を捉えるなど、本文とは異なった視点から時代の特色を捉えることができるなど、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための多様な活動が設定されている。</p> <p>○各章末のまとめで、見方・考え方を働かせながら、その時代の特色を捉えるため問いが用意されている。また、毎時間ごとに設定されている「問い」にも、生徒が見方・考え方を働かせながら考察する学習が取り入れられるなど、工夫されている。</p>	<p>○各編の導入「地図で見る世界の動き」では、学習する時代や史跡等の写真に加え、日本と欧米、中国、朝鮮等の年表が比較して示されている。また、毎時間、タイトルの前後に、生徒がどの時代の学習をしているか一目で分かるよう図版資料が掲載されるなど、時代の流れや特色を捉えやすい。さらに、各編末の「学習の整理と活用」では、年表を使った時代の振り返り学習とともに、「アクティビティ」として、その時代の特色を捉え、表現するための段階的な活動等が用意されているなど、生徒が歴史の大きな流れを大観しながら、各時代の特色を捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○第1編「歴史的な見方・考え方とは」で、見方・考え方の複数の視点が具体的に紹介されている。また、毎時間ごとに、学習課題の解決に向けた手がかりとなる見方・考え方が示されており、さらに、「深めよう」や「アクティビティ」でも、見方・考え方を働かせる課題が設定されるなど、生徒が常に見方・考え方を働かせながら考察を深められるようよく工夫されている。</p>	<p>○各章の扉ページで、「歴史モノサシ」として、古代から現代の流れの中で、生徒が学習する時代の学習範囲（長さ）を体感できるとともに、大きな歴史の流れを示す「鳥の目で見ると」、各時代の特色を捉える視点等を示す「虫の目で見ると」により、その時代の概観や流れが捉えやすい。各章末の「学習のまとめ」では、年表や資料などをもとにその時代を振り返り、その時代で最も重要な人物や出来事を選びその理由を考察し、自分の言葉で表現する活動が設定されている。さらに、特設ページ「歴史のターニングポイント」「私の歴史博物館をデザインしよう」では、生徒が歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えるための活動が設定されているなど、優れている。</p> <p>○見方・考え方に関する説明や紹介する記述は見られないが、各章のまとめ活動など、各所に生徒が見方・考え方を働かせながら、その時代の特色を捉えるための問いや課題が設定されているなど、工夫されている。</p>	<p>○巻末に12ページにわたって、歴史の流れを大観できるよう、地球誕生から現代までの歴史年表が図版とともに示されている。また、各章の冒頭には学習課題とともに、世界地図と年表を用いて、その時代の外国で起こった主な出来事や世界史の教材が示されており、生徒がその時代の世界の様子が捉えやすい。さらに、章や部のまとめにおいて、時代の特色に応じた図版や発問などが設けられており、スリーヒントクイズや歴史絵画の推理、その時代の人インタビューなど、多様な活動を通して、生徒の興味を高めながら、歴史の大きな流れを大観し、各時代の特色を捉えられるよう工夫されている。</p> <p>○見方・考え方に関する説明や紹介する記述は見られない。また、生徒が見方・考え方を働かせながら、問いの解決を図る具体的な課題等もほぼ示されており、工夫が弱い。</p>

【選定の観点4-2】

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者として、生徒が我が国の歴史の大きな流れを各時代の特色を踏まえ理解し、我が国の歴史に対する愛情を深めるとともに、公民として必要な資質・能力の基礎を身に付けられるよう、歴史的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりしようとする活動が適切に取り上げられていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
<p>○各単元の導入、毎時間の見開き、特設ページ、まとめに、考察する際の視点や発問が具体的に示されており、単元全体を通して、生徒が考察する力を身に付けるための学習に取り組みやすい。また、考察したことを説明する課題が、毎時間ごとのまとめ活動や単元末のまとめ活動で繰り返し用意されているなど、生徒が説明する力を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○歴史上の人物を扱った「人物コラム」が随所に設定されており、近代以降の人物には出身の都道府県が示されることで、生徒が郷土の偉人を意識しやすい。また、特設ページ「地域の歴史を調べよう」では、身近な地域を調べる学習事例が各時代に設けられているとともに、「もっと歴史」「歴史にアクセス」等の特設ページでは、我が国や郷土の歴史に関連する様々な事柄が紹介されるなど、生徒が我が国の歴史に対する愛情を深められるよう工夫されている。</p>	<p>○導入の資料、毎時間の学習など随所に、「読み解こう」や「Q」として、考察の視点とともに、生徒が考察する力を身に付けられるような活動が設定されている。また、毎時間ごとの「表現」や各章の「学習のまとめと表現」では、学習した内容をもとに説明する活動や思考ツールを用いて考察したことを整理する活動など、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭「私たちにつながる歴史」では、様々な人々の努力で受け継がれてきた伝統や文化財が写真や図版等で紹介されている。また、特設ページ「身近な地域の歴史を調べよう」「歴史を探ろう」では、地域の歴史を調査する活動のヒントや具体的な事例が示されるとともに、コラム「歴史の窓」等では、歴史的事象の様々な側面や背景、影響等が紹介されるなど、生徒が我が国の歴史に対する愛情を深められるよう工夫されている。</p>	<p>○各節の冒頭の随所に設定される「タイムトラベル」で、考察する際の視点が示され、節や章、毎時間ごとに、説明する課題が設けられている。また、「章の学習を振り返ろう」の「見方・考え方を働かせる」では、考察を深める手順や説明する際の話し型が具体的に示されているため、どの生徒にとっても学習に取り組みやすく、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○各時代で文化史の記述が充実しており、文化財等の写真が豊富に掲載されているとともに、文化の担い手となった人々の努力等が描かれている。また、地域の姿から当時の日本の歴史を捉える特設ページ「歴史を探ろう」や、中央とは異なる地域の伝統と文化が紹介されるコラム「地域史」、歴史上で活躍した人物のエピソード等に光を当てる「人物コラム」等、生徒が我が国の歴史に対する愛情を深められるよう工夫されている。</p>	<p>○毎時間の「ステップアップ」やコラムに関連した考察する視点や発問が各所に示されている。また、特設ページ「歴史を考えよう」、「地域からのアプローチ」、各章末の「章のまとめ」では、生徒が考察する際の視点や手順が示されているなど、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○美術作品、史跡等の図版には、そこから何が読み取れるのかの発問が付されており、特設ページ「歴史を考えよう」では、絵巻物や屏風図、史跡等から、当時の人々の姿や社会の様子等を考察し、話し合いながら深めていく活動が提案されている。また、「身近な地域を調べよう」「地域からのアプローチ」では、地域学習の方法やレポートの書き方、発表の仕方等が紹介されるなど、生徒が我が国の歴史に対する愛情を深められるよう工夫されている。</p>	<p>○各編の導入に加え、毎時間ごとに、考察する際の視点が具体的に示されるとともに、「確認」で説明する活動、「深めよう」で学習課題をさらに深める問いが設定されている。また、特設ページ「チャレンジ歴史」や各章末の「アクティビティ」でも、考察の視点や手順が3つのステップで具体的に示されており、繰り返しこれらの活動に取り組むことで、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○身近な地域の歴史や文化財・先人等を紹介する特設ページ等が豊富に設定されている。特設ページ「歴史を掘り下げる」では、日本の神話や文化財を守り伝える仕事を紹介されており、また、「でかけよう地域調べ」では、地域の歴史の調べ方・学び方が示されている。さらに、コラム「先人に学ぶ」「地域に学ぶ」では、生活の向上や文化の発展に取り組んできた先人や地域の歴史を学ぶ多様な例が紹介されるなど、生徒が我が国の歴史に対する愛情を深められるよう工夫されている。</p>	<p>○各章の導入の「虫の目で見ると」や特設ページ「歴史ズームイン」等で、考察する際の視点や発問が示されている。また、毎時間の学習や各章末の「私の博物館」「学習のまとめ」では、学習した内容を説明する活動が数多く設定されている。さらに、終章「日本の歴史を大観する」という課題では、生徒が歴史的事象を自ら選択し、自分の言葉で考察・表現する活動が用意されており、生徒が考察する力や説明する力が身に付けられるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○献身、公共、勤勉等の美德を体現した人物が数多く紹介される特設ページ「人物クローズアップ」、各時代を代表する女性を取り上げられている「なでしこ日本史」等に加え、我が国の歴史を築いてきた人物の役割が本文の各所でも重視されている。また、「地域の歴史を調べてみよう」には、身近な地域の歴史を調べまとめる活動が提案されており、「歴史ビュー」「歴史ズームイン」等では、各地域の文化遺産等が紹介されている。さらに、巻頭の特集ページ「日本の美の形」では、各時代の文化遺産が写真・図版等で紹介されているなど、生徒が我が国の歴史に対する愛情を深められるよう工夫されている。</p>	<p>○各部末のまとめ活動、各章末の振り返り活動等で、学習したことを関連付けて説明する活動が設けられているが、毎時間の学習では設定されておらず、生徒が考察する力や説明する力を身に付けるための手立てが弱い。</p> <p>○他社に比べて、特設ページやコラム等は多くないが、各所に設けられている「歴史を体験する」では、火おこしや糸紡ぎなどの体験学習が紹介されている。また、歴史の現場となった地域の姿や様相が具体的に記述されており、地域の視点から歴史を捉え、身近な地域の歴史的な特徴を調査・考察・表現できるよう工夫されている。また、文化遺産は、その文化が生み出された当時の人々の願いや社会情勢等が併せて記述されているなど、生徒が我が国の歴史に対する愛情を深められるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5-1】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
<p>○巻頭ページ「持続可能な社会の実現に向けて」で、環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術の5つのテーマが示され、また、現代社会の課題の解決に関する特集等が「歴史にアクセス」「もっと公民」で紹介されている。特設ページ「もっと歴史」では、エネルギーの今後のあり方を考える課題が提案されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭と巻末に、代表的な国宝や重要文化財、史跡などが写真とともに掲載されるとともに、随所に国宝・重要文化財・世界遺産の資料にはマークが付けられるなど、工夫されている。また、充実した文化史の紙面や、郷土の偉人を取り上げた人物コラムなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○第7章の最後「未来をひらくために」や終章の「歴史を振り返って、未来を構想しよう」で、SDGsの17の目標を示し、歴史の流れを踏まえ、現代の課題とこれからの社会を築いていくために自分たちに何ができるかを考察・構想する学習が用意されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○全体を通して、社会を動かしてきた先人の働きや民衆の営み、人々が受け継いできた多様な伝統と文化を主体的に学べることに主眼が置かれている。また、我が国の伝統と文化を紹介する巻頭ページ「私たちにつながる歴史」に加え、各所に国宝・重要文化財・世界遺産等の資料がマークとともに掲載されるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○終章「未来へ向けて」で、SDGsの17の目標を取り上げ、環境・交流・人権・平和の視点から、未来の社会をよりよくするために先人たちの取組が紹介されている。また、グループ活動等を通して、歴史的な背景を踏まえながら、問題の解決方法を考え、22世紀の中学生へのメッセージとしてまとめる活動が提案されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭に、伝統行事と祭り、巻末では、世界遺産や文化財が解説や学習ヒントとともに紹介されている。文化史は時代ごとに豊富に扱われており、世界遺産や国宝の資料にはマークが付けられている。また、日本の伝統と文化の理解を深める特設ページ「歴史を探ろう」やコラム「地域史」が豊富で、「人物コラム」では、為政者だけでなく地域で活躍した人物や女性など様々な立場の人々が紹介されるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○巻頭の「身近な地域を調べよう」で、一人の声や行動など、小さな歴史が大きな歴史を動かしたことを探る学習が、生徒にとって自分たちにも何ができるのかを考える動機付けとなっている。また、特設ページ「歴史へのアプローチ」「歴史を考えよう」では、多様な視点で歴史を学習し、現代とのつながりを考える中で、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭に、日本の世界遺産が注釈付きで紹介されている。また、特設ページ「地域からアプローチ」では、奈良や平泉、沖縄などの地域を通して歴史学習が設定されており、文化財保護について理解を深められる内容となっている。さらに、適宜掲載される国宝・世界遺産の資料にはマークが付けられ、「人物コラム」でも、歴史上の人物が多く取り上げられるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○第6編「これからの世界と日本の課題」で、現代的な諸課題の解決のために私たちに何ができるのかを考え、災害・政治・世界平和の3テーマが用意されている『歴史との対話』を未来に活かす」で、歴史や先人から学び、未来に継承・発展させるため、よりよい未来について考え、まとめる活動が提案されているなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭に、衣食住を視点にした昔と今のつながり、巻末では、世界遺産や文化財、史跡等が紹介されている。また、「歴史を掘り下げる」「出かけよう地域調べ」「地域に学ぶ」「先人に学ぶ」と多様な特設ページ等が用意され、地域に受け継がれてきた行事や活動等を継承・発展させることの意義が重視されている。さらに、文化史は各時代で豊富に扱われており、世界遺産や国宝の資料にはマークが付けられ、文化に関する資料も数多く掲載されるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○特設ページ「歴史のターニングポイント」で、戦後日本の高度経済成長が公害や過疎化等を引き起こしたことと触れ、その教訓を今後どのように生かすのか考察する活動が設定されている。また、巻末の「歴史学習のまとめ」では、歴史学習を将来どのように生かしていきたいか文章にまとめる活動「日本の歴史を学んで」が用意されるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭に、各時代の国宝級の文化財、巻末には、世界遺産や史跡が紹介されている。また、序章「歴史探検」として、小学校で学んだ先人をイラストで紹介し、年表の出来事と文化遺産を関連付けて整理する課題が提案されている。また、「歴史ビュー」「歴史にズームイン」「人物クローズアップ」「なでしこ日本史」と多様な特設ページ等が用意されており、文化財や人物に関する資料が豊富に紹介されているなど、我が国の時代ごとの人物や文化の特色や変遷が生徒にとって捉えやすく、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>	<p>○第6部「現代 学習のまとめ」で、時代の変化を捉え直しながら、国際社会の課題を考える課題学習として、難民、公害と環境、戦争と平和を取り上げたモデル文をもとに個人又はグループで考えを深めるなど、生徒が持続可能な社会の形成に参画する態度を身に付けられるよう工夫されている。</p> <p>○各所に今日につながる芸能、文芸、建築、伝統行事などが多彩に紹介されており、生徒を文化の担い手とする視点で記述されている。また、巻末には、日本の主な史跡や寺社が紹介されるとともに、適宜設定されている「歴史を体験する」では、地域の博物館調べや火おこし体験が提案されるなど、生徒が我が国の伝統と文化を尊重しようとする態度を身に付けられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5-2】

生徒が主権者として、持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識の涵養やよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けられるとともに、我が国の歴史と郷土に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる伝統と文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深められるよう、また、広い視野を持ち、異なる文化をもった人々と共に生きていくため、多様な文化を理解し尊重する態度や国際協調の精神を養うことに資する教材や活動が適切に取り上げられていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
○日本の歴史の大きな流れを理解するために、日本の歴史に影響を与えた世界の動きが、各時代の中で取り上げられており、関連付けを図りながら学習できるよう工夫されている。また、巻末の年表には、各時代の日本の年表に加えて世界の年表を掲載することで、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。	○日本の歴史の大きな流れを理解するために、日本の歴史に影響を与えた世界の動きとの関連付けを図りながら学習できるよう、適宜や大きめの世界地図が取り上げられている。また、巻末には「世界地図の歴史」として、各時代の地図が紹介されるなど、当時の世界観を掴みやすくする手立てがなされるなど、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。	○日本の歴史の大きな流れを理解するために、日本の歴史に影響を与えた世界の動きとの関連付けを図りながら学習できるよう、適宜や大きめの世界地図が取り上げられている。また、巻末の歴史年表には、各時代の日本の年表に加えて世界の年表を掲載することで、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。	○日本の歴史の大きな流れを理解するために、日本の歴史に影響を与えた世界の動きが、各所に取り上げられている。また、各章の始めに、その時代の日本の年表に加え、世界の年表や世界の様子が見られるなど、関連資料や古代から近代の世界の歴史に関する記述量も豊富で、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるようよく工夫されている。	○日本の歴史の大きな流れを理解するために、日本の歴史に影響を与えた世界の動きとの関連付けを図りながら学習できるよう、適宜や大きめの世界地図が各所に掲載されている。また、各編の始めに「地図で見る世界の動き」として、世界地図をもとにイラストや資料で世界の様子を解説する特設ページが用意されるとともに、巻末の年表には、各時代の日本の年表に加えて世界の年表を掲載することで、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるようよく工夫されている。	○日本の歴史の大きな流れを理解するために、日本の歴史に影響を与えた世界の動きとの関連付けを図りながら、学習できるよう工夫されている。また、巻末の年表には、各時代の日本の年表に加えて世界の年表を掲載することで、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。	○巻頭の歴史地図で、世界の主な史跡や出土物が紹介されているとともに、各章の始めには、世界地図とその時代の特色を表すテーマに沿った資料が掲載されている。また、巻末には12ページにわたり、地球の誕生から現代に至るまでの日本と世界の年表が掲載されているなど、全体を通して、世界の動きを欧米やアジアといった地域で分けるのではなく、日本の歴史の流れに合わせて記述されている点が他社と異なっており、生徒が我が国の歴史と世界の歴史との関連を意識しながら学習できるよう工夫されている。

【選定の観点6】

生徒が人権の重要性を学び、人間としての生き方について考察できるための工夫・配慮がなされ、基本的人権の尊重の精神及び道徳性を身に付けられるよう、人権教育や道徳教育の視点に立った内容が積極的に取り上げられていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
<p>○特設ページやコラムにおいて、在日韓国・朝鮮人、アイヌの文化など、人権や平和に関する題材が取り上げられており、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○特設ページ「歴史にアクセス」で、杉浦千畝の命のビザ、第五福竜丸事件、震災の記憶などが題材として取り上げられており、生徒が国際理解、生命の尊さ、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○特設ページやコラムにおいて、アイヌや琉球文化を伝えた人々、オリンピック・パラリンピックの意義、点字の始まりなどに関する題材が取り上げられており、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○特設ページ「歴史を探ろう」で、杉浦千畝、第五福竜丸展示館、原爆の子の像、などが取り上げられており、生徒が生命の尊さ、国際理解、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○コラム「未来に向けて」において、在日韓国・朝鮮人、アイヌ民族など、日本の人権に関わる内容に加え、奴隷制など世界の人権に関する題材が取り上げられており、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○特設ページ「未来へ向けて」で、環境・人権・平和等の視点から、困難な状況下で国と国とをつなぐ役割を果たした人物や出来事が取り上げられており、生徒が国際理解、生命の尊さ、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○世界の歴史の記載が充実しており、欧米社会における民主主義の拡大や人権獲得の歴史がわかりやすく紹介されている。現代では、公民権運動を推進したキング牧師が掲載されるなど、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○各所に設けられる特設ページ「地域からのアプローチ」では、その時代と地域の歴史のつながりを考える内容で、生徒が地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○コラム「歴史+α」で、在日韓国・朝鮮人、アイヌの文化など、人権に関する題材が取り上げられており、また、「女性史コラム」では、古代から現代までの女性の地位向上の流れがわかりやすく紹介されるなど、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○コラム「先人に学ぶ」で、雨森芳洲、岡倉天心、杉浦千畝などが取り上げられており、生徒が国際理解、生命の尊さ、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○二宮尊徳、田中正造など、人に尽くした人物に加え、「なでしこ日本史」では、古代から近代まで各時代に活躍した女性が紹介されている。また、コラム「歴史ビュー」で江戸時代の身分制度が題材として取り上げられるなど、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○特設ページ「歴史ズームイン」「人物クローズアップ」では、日本の伝統と文化、地域の歴史に名を刻んだ偉人足跡などが数多く紹介されており、生徒が伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○各時代に生きる人々の姿を中心に歴史が叙述されている。また、生徒の興味を引くようなタイトルが付けられたコラムでは、奴隷制、ハンセン病患者、戦争孤児が題材として取り上げられるなど、生徒が人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○指導的な立場の人物だけでなく、様々な分野・階層の男女の生活、子どもや青年の学習・労働等が題材として取り上げられており生徒が、勤労、公共の精神、地域の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度などについて深く考えられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点7-1】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
<p>○大きな単元を貫く「探究課題」、その解決につながる各節の「探究のステップ」、1時間ごとの「学習課題」の3段階の問いとそれぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。特に、各章末「まとめの活動」は、思考ツール等を用いながら、章の学習内容の理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○地理・公民分野との関連を示すマークが各ページに示されているとともに、他教科との関連が一目でわかるようマークが示されており、生徒が関連を想起しやすい。また、終章にSDGsに関連した学習が取り上げられるなど、現代的な諸課題に関連した学習活動が工夫されている。</p> <p>○各章の最初に、小学校の学習を振り返る活動と資料が掲載されている。また、年表には小学校で学習した語彙が示されるなど、小・中の接続が図られている。</p>	<p>○節ごとの問い、毎時間ごとの学習課題に対して、それぞれまとめ活動が設定されており、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。また、各章末の「時代の変化に注目しよう!」では、学習してきた時代と次の時代の資料を比較しながら、新たな章の学習内容につながるよう工夫されている。</p> <p>○見開きの左下に、他分野だけでなく他教科のどの単元や項目と関連するのかが示されており、生徒が教科を越えたつながりを意識しやすい。また、第7章にSDGsに関連した学習が取り上げられるなど、現代的な諸課題に関連した学習活動が工夫されている。</p> <p>○第1章で、小学校で学習した人物や文化遺産を振り返る活動が設定されている。また、小学校学習した人物には「小学校マーク」が付けられるなど、小・中の接続が図られている。</p>	<p>○単元を貫く問い、節ごとの問い、毎時間ごとの問いとそれぞれの問いに対応したまとめや振り返り活動に取り組むことで、生徒が系統的に学習できるように工夫されている。特に、各章末の「章の学習を振り返ろう」では、章の学習内容を深める場面が段階を踏んで設定されているため、繰り返し継続的に取り組みやすいよう工夫されている。</p> <p>○見開きの左下に、地理や歴史の他分野との関連が明示され、生徒がどの単元のどの項目を振り返るとよいかがわかりやすい。また、終章にSDGsに関連した学習が取り上げられるなど、現代的な諸課題に関連した学習活動が工夫されている。</p> <p>○単元のはじめの「タイムトラベル」で、小学校で学んだ主な出来事や人物が紹介されている。また、見開きの左下に小学校と関連する項目が示されるなど、小・中の接続が図られている。</p>	<p>○各章末の「まとめ」で、章の学習内容をもとに、その時代の特色を振り返りながらまとめられるようになっていく。また、毎時間ごとの学習課題が「ステップアップ」として発問形式で示されているが、単元や節のまとめごととの学習課題は設定されておらず、単元を通した系統的な構成の工夫としては、手立てがやや弱い。</p> <p>○他分野や他教科等の関連を示すマーク等は設けられていないが、各章で設定される特設ページ「地域からのアプローチ」では、他分野や他教科の内容を活用しながら取り組む課題となっている。また、現代的な諸課題は特設ページや最終章のまとめの学習課題で関連が図られている。</p> <p>○適宜、小学校で学習した内容が記載されている。また、高等学校の日本史や世界史につながる内容も多く扱われており、高等学校との接続をより意識して工夫されている。</p>	<p>○各編の導入で、何ができればよいか「めあて」で示されるとともに、各章末の「学習の整理と活用」、毎時間ごとの学習課題とその課題に対応した「確認」などのまとめ活動に取り組む構成となっており、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○地理・公民分野との関連や地図帳との関連が具体的な指示で示されているとともに、巻末の「絵画資料の見方」では、美術科との関連が図られるなど、適宜他教科と関連した学習が提案されている。また、現代的な諸課題は特設ページや巻末の学習課題で関連が図られている。</p> <p>○各章冒頭に示される時代の流れを掴むための年表及び各ページで該当人物が登場した際の見開き左下に、小学校で学習した人物として明示されており、小・中の接続が図られている。</p>	<p>○各章冒頭の「歴史絵巻」で学習する時代の概要を捉えたいうで、各章末の「歴史のターニングポイント」で、章の学習内容を活用して、設定されたテーマについて考察し、「学習のまとめ」では、その時代の特色を表現する活動取り組むなど、生徒が系統的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○他分野や他教科等の関連を示すマーク等は設けられていないが、各章で設定される特設ページ「私の歴史博物館をデザインしよう」では、他分野や他教科の内容を活用しながら取り組む課題となっている。また、現代的な諸課題は特設ページや巻末の学習課題で関連が図られている。</p> <p>○序章「歴史探検」や各章「歴史絵巻」で、小学校で学んだ先人がイラストで紹介されており、各時代の出来事と関連させながら、歴史の流れを振り返ることができるなど、小・中の接続が図られている。</p>	<p>○大きな時代のまとめごと学習課題が示され、その学習後にまとめ活動が設定されているが、各章の学習や毎時間の学習課題とのつながりが見えにくく、毎時間の学習のまとめの設定もされていないなど、単元を通した系統的な構成の工夫としては手立てが弱い。</p> <p>○特設ページや巻末の学習課題で、現代的な諸課題との関連が図られているが、他分野や他教科との関連を示すマークや学習課題等は設定されていない。</p> <p>○巻頭の「歴史を楽しく学ぼう」で、小学校の学習を振り返る活動が掲載されており、人物カードと出来事・文化カードの作成を行うなど、小・中の接続が図られている。</p>

【選定の観点7-2】

系統的・発展的に学習しやすい単元構成であることに加え、他教科等の学習内容との関連や現代的な教育諸課題との関連が想起しやすく、また他校種との接続や家庭・地域との連携についても工夫・配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
○第1章の「身近な地域の歴史」や各章の特設ページ「地域の歴史を調べよう」を通して、地域の歴史に目を向けることで、生徒の身近な地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、教科の裏表紙に保護者の皆様への記述があり、保護者との連携について工夫されている。	○第1章の「身近な地域の歴史を調べよう」や各章の特設ページ「身近な地域の歴史を調べよう」を通して、地域の歴史に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、教科の裏表紙に保護者の皆様への記述があり、保護者との連携について工夫されている。	○第1部の「歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方」や特設ページ「歴史を探ろう」、コラム「地域史」をもとに、身近な地域に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、巻頭の「はじめに」のメッセージは、保護者とも共有できる内容となっている。	○各章で設定される特設ページ「地域からのアプローチ」を通して、地域の歴史に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、巻頭の「はじめに」のメッセージは、保護者とも共有できる内容となっている。	○特設ページ「でかけよう！地域調べ」や「地域に学ぶ」をもとに、身近な地域に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、巻末の「歴史を学んで」のメッセージは、保護者とも共有できる内容となっている。	○第1章「身近な地域を調べよう」や特設ページ「地域の歴史を調べてみよう」では、大阪市や横浜市を例に、身近な地域に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、巻末の「歴史の旅の終わりに」は、保護者とも共有できる内容となっている。	○適宜設定される「地域の博物館で調べる」や「地域の歴史を歩く」をもとに、身近な地域に目を向けることで、生徒の地域への愛着を深められるよう工夫されている。また、巻末の「歴史学習を終えて」のメッセージは、保護者とも共有できる内容となっている。

【選定の観点8】

表記、表現、写真、図表等が適切かつ正確であることに加え、ユニバーサルデザインの観点から、文字フォント、色の使用、紙面の構成等において見やすく読みやすいよう工夫・配慮がなされていること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名						
2 東書	17 教出	46 帝国	81 山川	116 日文	227 育鵬社	229 学び舎
○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすいよう工夫されている。	○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすいよう工夫されている。	○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすく、本文と資料の割合バランスも適切である。	○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすいよう工夫されている。	○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすく、本文と資料の割合バランスも適切である。	○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすく、本文と資料の割合バランスも適切である。	○コラムや図・表・文化財の写真など、資料が豊富で、自主的に学習を進めやすい。
○本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすい。	○本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすい。	○本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすい。	○本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすい。	○本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすい。	○本文と資料の内容を図番号によって関連付けられており、使いやすい。	○本文と資料の内容を図番号によって関連付けられていない。
○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、本文と資料の背景色を変えることで、より本文の文字が読みやすくなるよう工夫されている。	○重要語句は太文字のゴシック体で表記されており、グラフの色使いなどに統一感をもたせるなど、工夫されている。	○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせて提示するなど、生徒にわかりやすく工夫されている。	○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせて提示するなど、生徒にわかりやすく工夫されている。	○読みやすいゴシック体の振り仮名が採用されており、統計やグラフの出典年まで示されるなど、工夫されている。	○写真やグラフがバランスよく配置されており、絵と写真を組み合わせて提示するなど、生徒によりわかりやすくするため工夫されている。	○ゴシック体の振り仮名等は採用されていないが、写真やグラフがバランスよく配置されているなど工夫されている。
○ユニバーサルフォントが採用されており、立体感や陰影のある表現を省いた「フラットデザイン」が採用されるなど、工夫されている。	○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、見開き右下の色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすい。	○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、グラフなどは、線種を変えたりするなど色以外の情報からも読み取れるよう配慮されている。	○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、図版をできる限り大きく掲載できるよう工夫されている。	○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントに配慮されている。また、ページ番号に色分けされたインデックスで単元が分類されており、生徒にとって使いやすい。	○図版は色覚特性を踏まえて、判別しやすい色の使用や表示が工夫されるなど、カラーバリアフリーに配慮されている。	○カラーユニバーサルデザインを取り入れており、すべての生徒に使いやすい配慮がなされている。
○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。	○造本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。
○再生紙と環境に配慮した植物油インキが使用されている。	○再生紙や植物油インキが使用されている。	○環境にやさしいフレッシュバルブとライスインキが使用されている。	○再生紙と植物油インキが使用されている。	○再生紙や植物油インキが使用されている。	○再生紙や植物油インキが使用されている。	○再生紙や植物油インキが使用されている。